

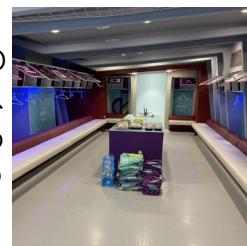


世界に誇る日本の道徳心

～サッカーW杯! ドーハの歓喜～

一体、どれだけの方がこの結果を予想できただろうか？4年に1度のサッカーのワールドカップがカタールで開催されています。日本代表は、初戦のドイツに勝利したものの第2戦のコスタリカに敗北。そしてグループ最強のスペインとの最終戦。早朝の試合でしたが、前半早々に先制点を入れられ、圧倒的に支配されている状況に絶望しかけていました。ところが、後半に日本が2点を決めて見事勝利。グループリーグを首位で突破という快挙を成し遂げました。ドイツとスペインに勝利するなんて、世界中の誰が想像したでしょう。(コスタリカに敗れたことも含め、きっと逆の結果を予想していた人が大多数だったと思います。)ドイツ戦もスペイン戦も後半になって作戦がはまり、日本が勢いづいて逆転するというドラマチックな試合に、胸が熱くなりました。

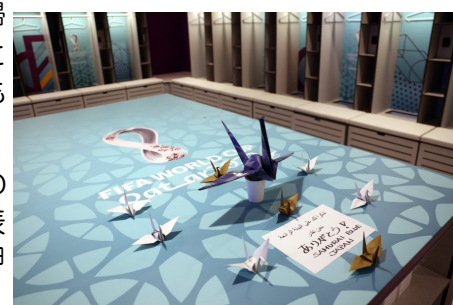
さて、日本代表は試合以外でも話題にのぼっています。右の写真は、試合後の日本のロッカールームの写真です。試合後、選手たちによってピカピカに清掃され、選手とスタッフは会場を後にしたそうです。また、テーブルの上には、日本語とアラビア語で「ありがとう」と記された手紙が添えられ、折り紙で作った鶴がちりばめられていたという「イキな計らい」もあったそうです。



さらに下の写真は、コスタリカに敗れた試合後、日本サポーターがスタンドのゴミ拾いをしている様子です。これを世界各国のメディアが取り上げ、「カタールの猛暑の中での立派な行動は、またしても広く称賛されることとなった」と紹介。SNS上では「この人たちはワールドカップの真の勝者だ!」などの声が寄せられたそうです。そして、日本を見習い、他国のサポーターが試合後にゴミ拾いをするという行動が広がっているとのこと。日本人がこれほど掃除ができるのはなぜでしょう。実は学校の掃除の時間にあると言われていました。海外の学校には、自分たちで掃除をする時間がないそうです。日本では、小学生のときから自分たちで過ごす教室を自分たちで掃除する習慣が身に付いています。そうやってきれいな場所を保ち、誰もが気持ちよく過ごせるように一人一人が奉仕しています。日本を見習って掃除の時間を取り入れている海外の国の学校もあるようです。たとえ自分が出したゴミでなくても拾ってきれいにしてから去る、後の人が気持ちよく使えるようにロッカーをきれいにする。そんな日本人の行動を誇らしく思います。日本人の道徳心や思いやりは、世界からリスペクトされています。同じ日本人として、この日本の誇りを大事にしていきたいですね。そのためには、まず学校内の掃除から頑張ってみませんか。掃除をすることはその場所をきれいにするとともに心を磨くことにもなります。その心は自分を成長させ、他者からも認められ、みんなに幸せをもたらすはずです。



最後に、クロアチアに負けた後のロッカールームの鶴は紙コップの上に置かれ、未来に向かって羽ばたく鶴を想像させています。日本代表と同様に、どんな時でも未来に向かって羽ばたく常に希望に満ちた押中生になってほしいと思います。



生徒会誕生！新しい押中づくりへ

12月1日の立会演説会、2日の投開票により、生徒会の正副会長が選出されました。どの候補者も押中のことを真剣に考え、自身の目指す押中学生会を自分の言葉で語ってくれました。

生徒会には先輩たちが残した「押中魂」の伝統と現生徒会がコロナ禍での取り組み「新しい押中づくり(押中スタイル)」をさらに充実させ、校訓「進取創造」のもと、素晴らしい押中を創って欲しいと思います。



生徒会 会長 志村 勇太 さん
副会長 小田切 怜 さん
副会長 古屋 陽梨 さん
副会長 加賀美 花 さん

行事のようす



生き方教育講演会(1年) 認知症体験・養成講座(2年)



人権福祉講話(1年)



チャレンジ校外学習

PTA球技会 & 研修会

11月26日、PTA保健体育部による球技会と、PTA研修部による研修会を実施しました。大勢の保護者と教員で楽しく、充実した会になりました。研修会では本町の食推さんにも協力していただきました。コロナ感染に配慮しながら久しぶりに大声で笑ったひとときでした。来年度も実施の予定です。



第2回学校運営協議会 さくら会施肥作業

12月7日第2回学校運営協議会が開催されました。コロナ禍の前期の教育活動の報告や学校評価について意見交換を行いました。今後も、地域の皆様と連携し押中を育てていきたいと思っております。

同日、さくら会の皆様と本校2年生の美化環境委員会とのコラボで、校庭の桜に肥料をまきました。来春も、きれいな桜の花を咲かせてくれることでしょう。ありがとうございました。



時(とき)の流れ

今年もあと1ヶ月となりました。皆さんは、2022年を長く感じたでしょうか？万の哲学者ジェナーによると、時間が過ぎる早さは年齢に比例して加速していて、1年の長さを「50歳の人にとっての1年は人生の50分の1。15歳の中学生にとっての1年の長さは15分の1」に感じると説明しています。要するに、1年という時間は、自分の年齢分の1と数学的に捉えていて、年を取るほど、1年が過ぎる時間を短く感じるようです。



また、年齢が若いうちは初めての(新鮮な)経験が多く、充実した時間を過ごしているのに対して、年齢を重ねていくと多くの経験を積んでいて、経験に裏付けされたことが多く、新鮮な感覚が少なくなる分時間が過ぎるのが早く感じるようです。

さて、皆さんは、2022年を長く感じたでしょうか？コロナ禍の中、学校行事や諸活動に創意工夫することが多かったと思います。また、学年が1つあがることでチャレンジすることによる充実感があったと思います。私には、充実感を持ちながら時の流れを長く感じる中学時代は、うらやましく思えます。

新春が、ご家庭の皆さまにとりまして、夢と希望に満ちあふれていることを願っております。良い年をお迎えください。

【1月・2月の予定】

- | | | | |
|----|--------|----------------------|---|
| 1月 | 6日(金) | 始業式 |  |
| | 9日(月) | 成人の日 | |
| | 10日(火) | 2・3年到達度検査 給食開始 | |
| | 11日(水) | 身体測定 3年進路相談(~12日) | |
| | 17日(火) | 集金日(~19日) | |
| | 30日(月) | 学校開放日(~2月3日) | |
| 2月 | 1日(水) | 公立前期試験(~2日) | |
| | 2日(木) | 2年スキー教室 | |
| | 3日(金) | 新入生説明会 | |
| | 7日(月) | 集金日(~9日) 3年期末テスト | |
| | 15日(水) | 第3回学校運営協議会 | |
| | 16日(木) | 第4回学校委員会 | |
| | 22日(水) | 1・2年期末テスト(24日) | |
| | 23日(木) | 天皇誕生日 | |